

“がん”とともに生きる家族へ寄り添う

がん患者の家族を支えるために必要なこと



明治安田
永島 英器 社長

ながしま・ひでき / 1963年東京都生まれ。東京大学法学部卒業後、明治生命保険相互会社（現・明治安田生命保険相互会社）入社。趣味は毎日1時間のウォーキング。座右の銘は「一日一生」。静岡支社長、企画部長、執行役員企画部長、執行役員人事部長を歴任し、常務執行役を経て、2021年7月から現職。



Wonders & Worries
共同研究者
キャスリーン・マッキュー氏

臨床心理学修士、認定チャイルド・ライフ・スペシャリスト、ライセンス取得済みソーシャルワーカー。病気の子どもと家族への心理社会的支援に43年間従事。全米初の成人患者の子ども支援プログラムを立ち上げた第一人者。喪失や死別、トラウマ、病気が子ども・家族に与える影響に関する講演、著書、専門誌への論文発表多数。

“がん”とともに生きる時代。明治安田では、保険金などの支払い（保障）と、サービスの提供を通じて、がんの治療や共生に関する不安に寄り添う取り組みを展開している。しかし、がん患者への支援は本人のみならず、その家族、とりわけ、成長期の子どもにこそ必要だということはあまり知られていない。そこで、がん患者の家族が直面する課題と周囲ができる支援などについて、明治安田の永島英器社長と、アメリカで親ががんなどの重大疾患にかかった子どもたちへの支援に取り組む、コンサルタントで Wonders & Worries の共同研究者であるキャスリーン・マッキュー氏が語り合った。

※明治安田のグループ会社である明治安田総合研究所が、NPO法人Hope Tree（ホープツリー）などと連携し、がん患者の家族への支援や普及啓発を進めています。



親の病気を正直に子どもに伝えることが重要

キャスリーン 親が重大な疾患にかかり、子育てに手が回らず親の役割を十分に担えない状況では、子どもは大きな不安を抱え、学業成績の低下や、問題行動、子ども返りが起こることがあります。一方で、適切な理解と支援があれば、子どもの自立心や共感性が育つきつかけになることもあります。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

明治安田の営業職員が寄り添うことで家族に安心をお届け

永島 当社には3万7000人の営業職員がおり、全国に1000以上の拠点がありません。当社の営業職員は日ごろからお客様と接しており、病気の際には保険金のお支払い手続きなどでご家庭を訪問します。その場には子どもがいることも少なくないですが、正しい知識がなければ手を差し伸べることが難しいと思います。営業職員が適切な知識を持つことで、ご家族にとってより安心できる存在になれるはずです。

病気の前から最後まで寄り添う

永島 現在は、格差の拡大や民主主義の危機など、社会課題があふ

社会的課題が多い現代こそ誰かのための行動が自分の幸せにつながる

永島 社会課題が多い時代の中で「利他」という言葉が注目されています。誰かのために行動することは大切ですが、それは一方的ではなく相互に影響し合うものです。子どもに寄り添う取り組みは社会全体に影響を与えるだけでなく、

見落とされがちな子どもへの支援

も取り組んでいきたいと思っています。明治安田総合研究所では、子どもの頃に親が重大疾患にかかった経験のある人が、その体験からどのような影響を受けたのかを研究しています。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

見落とされがちな子どもへの支援

永島 子どもにとって、親の病気が一生忘れられない出来事です。その体験が子どもの人生にどのような影響を与えるか、周囲の対応次第で大きく変わると考えます。周囲の大人はどのようなサポートができるのでしょうか。

生命保険会社の役割を超えた価値を提供

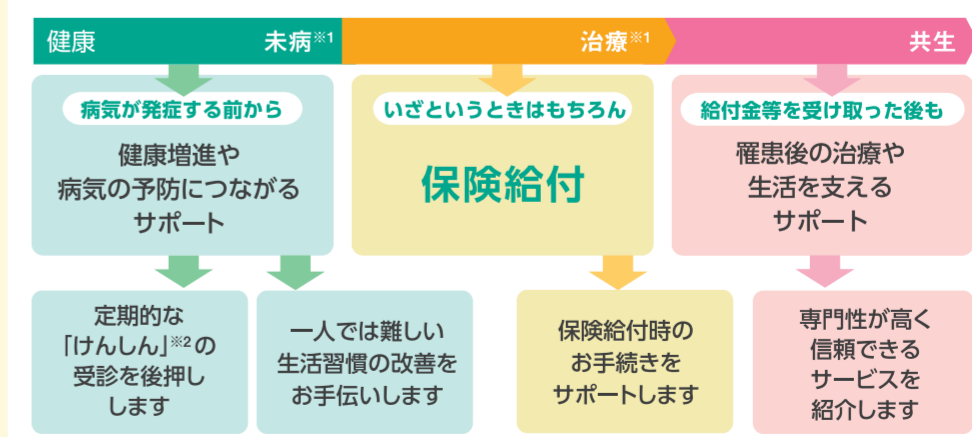
明治安田では、お客様の「クオリティ・オブ・ライフ(QOL)」の維持・向上を支えることも、生命保険会社としての重要な使命の1つだと考えています。病気になったときに保険金をお支払いすることに加えて、お客様がその人らしく豊かな生活を送り続けられるよう、健康に寄り添った支援を提供することも大切です。

そこで当社では、お客様の健康なときから、診断、治療、そして治療後の生活に至るまでを一貫して支える取り組みを展開しており、従来の「保障」に加えてさまざまな「サービス」を組み合わせることで、保険給付の前後にまでサポートを広げ、お客様の生活全体を支えていくことを目指しています。

さらに2025年12月から、がんのサービスを拡充し、従来の

がん検診の受診勧奨を通じて早期発見を後押しすることに加えて、検診などで異常を指摘された際に活用いただける、2つのサービスの提供を開始しました。がん専門医と直接相談できる「明治安田のがん相談窓口」と、がん専門医が執筆した、がんの基礎知識や治療に関する情報を解説する「明治安田のがん情報サイト」です。がん治療の段階では、主治医以外の医師から今後の治療方針や方法について意見を聞くことができるサービスを提供し、治療後の段階では、再発への不安や今後の生活、治療費やお金の問題などを相談できる窓口をご案内しています。今後も、お客様のQOLの維持・向上につながるサポートを継続的に提供してまいります。

病気の前から最後まで寄り添う、明治安田の取り組みのイメージ



※1 がんは健康—がんの疑い—診断—治療—共生の4つのステージに区分けしています ※2 健康診断・がん検診等



対談の様子を動画でご覧いただけます

